

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会（第21回）会議録（概要）

- 1 開催日時 平成27年（2015年）10月15日（木） 10時00分～11時00分
- 2 開催場所 吹田市役所 4階 特別会議室
- 3 出席者名簿 別紙「出席者一覧」のとおり
- 4 配付資料 資料1 持参率の現状について
資料2-1 北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて
資料2-2 北摂各市大型小売店舗一覧
資料3-1 次年度以降の協定更新について（案）
資料3-2 吹田市におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定

5 議案

- (1) 持参率の現状について
- (2) マイバッグ等持参啓発について
 - ①北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて
 - ②吹田母子会まつりについて
 - ③すいた環境教育フェスタについて
- (3) 次年度以降の協定について
- (4) その他

6 会議要旨

- (1) 持参率の現状について

【事務局】 ～資料1に基づき説明～

【会長】 質問あるか。ここ1年は持参率が安定しているということか。

【事務局】 そのとおりである。微増であるが、43%～44%をキープしているというのが現状。

【会長】 そういう状態であるということだが、意見はないか

【市民団体A】 平成26年の持参率が44.1%から少し減少し43%になっている時期があるが、何か理由があるのか

【事務局】 特に大きな動きはなかったと思う。

【市民団体A】 たとえばキャンペーンを行なっていなかったからとか

【事務局】 たしかに例年6月～10月にかけてキャンペーンを行なっている。持参率が下がった時期にキャンペーンを実施していなかったということはある

【市民団体A】 やはりそのあたりの影響なのではと思う。

【会長】 持参率の報告なので、そんなに意見はないと思う。皆さんの中では持参率を上げていきたいという思いがある。中身についてはまたこの後の説明の中でご意見をいただきたい

(2) マイバッグ等持参促進啓発について

① 北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて

【事務局】 ～資料2-1、資料2-2に基づき説明～

【会長】 質問はないか。北摂共通のマイバッグキャンペーンがだんだん定着してきたのではないか。なかなか各市が足並みをそろえるのが難しいということだが、資料を見ると大型小売店舗は吹田市よりも豊中市のほうが多いと思う。イオンモール茨木さんが北摂各市町でキャンペーンを行なえるということは、ひとつひとつ進んでいっていると思う。この件について何か感想はないか。また、母子会まつりと環境教育フェスタに

出展してほしいということだが、意見はないか。事業者さんからは意見はないか。特に今回、イオンモール茨木さんでキャンペーンをおこなうということだが。

【事業者A】 行政からの要請であればスペースさえあればやると思う。キャラクターがこれだけそろったらお客さんも増えると思う。

【会長】 箕面市さんは出られないということだが

【事務局】 箕面市さんはキャラクターは出られないが、職員は参加していただける

【会長】 事業者Bさんは何か意見はあるか

【事業者B】 マイバッグ持参のポスターはいいが、マイバッグキャンペーンのポスターを掲示することは店舗から抵抗があると思う。自店舗ではなく、イオンモール茨木さんに足を運んでほしいということになってしまう。

【会長】 是非、自店舗でも呼びかけや啓発ができるようお願いしたい。

【事業者B】 もちろん啓発はさせていただく。

【会長】 事業者Cさんはどうか

【事業者C】 昨年、千里中央のショッピングモールでキャンペーンをおこなっていた。キャラクターが立っているだけで子どもが集まって、非常に盛況だったと思う。分散してやっていただいたほうがいい。

【会長】 事業者Dさんはどうか

【事業者D】 これだけキャラクターが揃っていたら、個人的に見たいと思う。

どこか一つの場所でなく、何か所かで分かれておこなったほうがいいのでは

【会長】 各市町村を回るだけでも7年かかってしまう。春と秋とか、年末がいいのかとか、時期をまた事業所さんと相談して場所を提供してもらうように働きかけてほしい。また、行政もそんなに頻繁にキャンペーンを行なえないと思うので、そのあたりを考

えながらキャンペーンを今後もおこなってもらいたい。北摂のキャンペーンを年に2回に増やしてもらうことも方法のひとつだと思う。そうすれば、「次はこの店舗でキャンペーンがおこなわれる」ということでポスターも貼ってもらえると思う。

【市民団体B】 北摂のマイバッグキャンペーンが3回目だと思うが、吹田、豊中とやってきて、今回は会場がイオンモール茨木さんだけということか

【事務局】 1回目は吹田市で実施し、去年は豊中市さんで実施させてもらった。北摂各市町が集まって、意見交換会をしているが、その中で今までに実施したことがない自治体さんで実施できないかということで話し合いをさせてもらったところ、茨木市さんが、「今年度は茨木市でもらってはどうか、イオンモール茨木さんは広い場所もいいので」ということで提案があった。他市からも賛成の意見をいただいたので、11月3日に開催する運びとなった。

【市民団体B】 さっき事業者Cさんも言っていたが、他のお店と同時に、キャンペーンができたらいと思う。場所的には広いということで、私達がお手伝いに行っても邪魔にならないか

【事務局】 大丈夫である。

【会長】 それは、たくさん行ってほしいと思う。北摂各市で集まって行政の取組み内容が充実してこなかったらなかなか進まない。「次は〇〇市」というような形を含めながら、北摂みんなで盛り上がりながら、事業者さんとも話をし、時期などの調整もしながらキャンペーンを行なっていけたら。また、時期が固まったら市民団体さんにも協力依頼をしていただくというようにしてもらえればいい。母子会まつり、環境教育フェスタへの出展についてはひとつのイベントの中で行なうことなので、特に意見はない。

【事務局】 出展内容についてはどうか。昨年と同様の内容でいいか。

【会長】 それはまた市民団体を集めて決めてもらえばいい。昨年同様のことをやりながら新しいものもやるとか確認しながら決めてもらえたらと思う

【事務局】 また市民部会を開催させていただく。

(3) 次年度以降の協定について

【事務局】 ～資料3-1、資料3-2に基づき説明～

【会長】 協定の内容だが、事務局が案を出してくれた。事業者さんでできるところとできないところがあると思うが、「レジでのレジ袋不要確認の声掛け」については事業者意見に意見を聞かなければならない。「マイバッグの持参や携帯」については、できるだけ、出かけるときにはマイバッグを持って行ってほしいということが何かの形でできればと思う。協定は、あくまでも事業所さんと結ぶ内容になっているが、マイバッグ携帯については、当然、市民団体からも呼びかけをおこなわなければならない

らないと思う。何か意見はないか。

【事業者B】「レジ袋不要確認の声掛け」についてだが、断る事業者はあるのか？当たり前のことだと思う。我々としたらレジ袋を渡すとコストがかかる。少なくなるとコストは下がる。

【会長】声をかけてもらったなら、持ってきているのを忘れていた人も思い出すかもしれない。確認の声掛けは選択制の取組みである。問題なければ声掛けをしてもらえばいいと思う。

【事業者B】レジ教育とか混雑している時とかを気にする事業者さんがあるのであれば、「声掛け及び店内アナウンス」というような形でもいいのでは。

【会長】それは両方やってもらった方がいいと思う。

【市民団体C】スーパーによっては、「レジ袋不要」の札をレジに置いているところもある。

【会長】レジで声をかけてもらうことが当たり前というように協定で結んでもらえればありがたいと思う。協定の内容に声掛けを書くことに依存はないか。声掛け以外にも店内放送であったり、張り紙であったりなどで呼びかけていただく。

【事業者B】レジ袋を配布することがサービスと思われている企業さんもいるが、それは企業のエゴだと思う。消費者が地球環境について考えることができる北摂だからこそできると思う。わざわざ選択制にしなくてもいいと思う。

【会長】ほかに意見はないか。

【事業者A】うちはレジ袋の無料配布をしていないので、8割の人がレジ袋いらない。2割の人に声掛けは難しい。「レジ袋要否確認」までだったら幅が広い。先ほど話に出た札を置いている。声掛けまでいくと、8割の人にも声をかけなければならないので、そのあたりの表現だけ選択できるか。

【会長】確認は事業者によって、呼びかけしてほしいにつながる。店内放送等でPRしてほしいと思う。「声掛け」と書かれていても確認さえできればいいと思う。そういう意味もあって選択制にしている。協定案としてはこれでいいか。「レジ袋でのレジ袋要否確認の声掛け」を「レジ袋でのレジ袋要否確認・声掛け」としたら選択の幅が広がると思う。マイバッグの持参や携帯についてはこれでいい。ほかに意見はないか。

【事務局】協定の有効期間については2年でいいか

【会長】2年でいいと思う。あまり長くても、見直し等があることもある。それでよいか。

【事業者B】我々の最終目標は有料化である。それをどういうふうに持っていくか、行政主導でやってもらえればありがたいが、そのためには協定の縛りがあつたら困る。2年ぐらいで、次のステップをどうするかを考えればいいのでは。

【会長】 北摂地域の足並みが揃ってきたということになれば、そういった方向に向かっていきやすいと思う。それは大事なことだと思う。協定の有効期間は2年間としていいか。その他、意見はないか。

【市民団体B】 協定内容で持参と携帯のPR活動するという方向で進んでいくということだが、協定の名称を変更するのは難しいのか。

【会長】 もともとマイバッグの持参促進、レジ袋削減ということで取り組んできている。持参の中に携帯も含まれるというらえ方をすればいいと思う。店頭では、すでに取り組んでいただいているところもある。協定の名称についてはこのままいきたいと思う

【会長】 他にご意見はないか。なければこれで終了とする。

(4) その他

次回開催日程 平成27年(2015年)12月7日(月)午前10時から
吹田市文化会館(メイシアター集会室)